

スーパー耐久 レースレポート／Super Taikyu Race Report 第5戦・鈴鹿サーキット／R-5 SUZUKA (10/25～26)

スーパー耐久でライティング、撥水ワイパー、ホイールなどで各チームをサポート！
イベント会場ではPIAAがPRブースを出展、製品展示と「おもしろライト」！



ENDLESS ADVAN BMW Z4 GT3

■概要／Outline

国際レースや国際ラリーで活躍するPIAAは国内のモータースポーツシーンでも活躍。なかでも、市販車両をベースに争われるツーリングカーの耐久レースシリーズ「スーパー耐久」では数多くのチームをサポートしており、2014年も各クラスでPIAAのサポートチームが活躍している。



具体的にはスーパー耐久の名門チーム「ENDLESS SPORTS」もPIAAの装着チームで、BMW Z4の3号車が第3戦の富士スピードウェイで最高峰のST-Xクラスを制するほか、トヨタ86の13号車が第2戦のスポーツランドSUGOにてST-4クラスで初優勝を獲得。さらにST-3クラスに2台の日産フェアレディZを投入する「テクノファーストラシングチーム」も、35号車が開幕4連勝を達成し、最終戦を待たずして2014年のチャンピオンに輝いている。ST-2クラスでは今季スポット参戦ながら表彰台や上位入賞を果たしている「ハセ・プロレーシング」のランサーエボリューションX。



ENDLESS SPORTS 86&Z4



TECHNO FIRST Z34



HASE・PRO Racing ランサー

また、ST-3 クラスに 2 台のレクサス IS 350 と ST-4 クラスに 2 台のホンダ S2000 を投入する「TRACY SPORTS」も PIAA の装着チームで 41 号車が ST-4 クラスで 2 勝をマーク。



TRACY SPORTS S2000



TRACY SPORTS IS350 #39



TRACY SPORTS IS350 #38

ST-4 クラスの ARTA with Team A-ONE インテグラ Type-R は粘りの走りでクラス 5 位入賞、さらに ST-5 クラスにホンダ・フィット RS を投入する「TEAM SPOON」がシーズン 3 勝をマークするなど、2014 年も PIAA ユーザーが各クラスで活躍している。



ARTA with TEAM A-ONE DC5



TEAM SPOON FIT3



TEAM SPOON クラス優勝

■2014 年のスーパー耐久/Future of Super Taikyu 2014

1990 年の N1 耐久シリーズから独自の進化を遂げてきたスーパー耐久は、日本を代表するツーリングカーの耐久レースシリーズとして定着。2014 年も数多くのチームがエントリーしており、排気量や駆動方式に応じて分類されている 6 クラスで激しいバトルが展開されている。各クラスともに車種バリエーションが多彩で、常にドラマチックなポジション争いが展開されていることから、スーパー耐久は数多くのレースファンに親しまれているが、国内外のモータースポーツシーンで活躍する PIAA も数多くのチームにヘッドランプや超撥水シリコンワイパー、アルミホイールなどのアイテムを供給。同シリーズにおいても PIAA のサポートチームが各クラスで活躍中だ。



Lighting (HID&LED)



撥水デザインワイパー



Forged Wheel

そのなかで最も注目したいチームが、スーパー耐久の名門として活躍する「ENDLESS SPORTS」だと言えるだろう。同チームは 2009 年に三菱ランサーで ST-2 クラスのチャンピオンに輝くほか、2012 年には日産フェアレディ Z で ST-1 クラスを制するなど常にスーパー耐久の最前線で活躍してきたチームで、2014 年は FIA GT3 公認車両と ST-A 車両を対象とする最高峰の ST-X クラスに BMW Z4 を投入。PIAA のライティングシステムを採用する 3 号車が第 3 戦の富士スピードウェイでシーズン初優勝を獲得するほか、第 2 戦・スポーツランド SUGO、第 4 戦・岡山国際サーキットで 2 位に入賞したことは記憶に新しい。残念ながら 140 分レースという変則的なスタイルで争われた第 5 戦の鈴鹿サーキットは惜敗するものの、それでも 3 位入賞で今季 4 度目の表彰台を獲得するなどまさにトップレベルの安定性だ。

さらに同チームは 1501cc~2000cc までの車両を対象とした ST-4 クラスにトヨタ 86 を投入しており、同クラスにおいても PIAA のライティングシステムおよび超撥水シリコンワイパーを装着した 13 号車が躍進。第 2 戦のスポーツランド SUGO で劇的な逆転勝利を獲得した。

一方、2001cc~3500ccの2輪駆動車で争われるST3クラスに目を向けると、2台の日産フェアレディZを投入する「テクノファーストレーシングチーム」が圧倒的な強さを披露している。なかでも、PIAAのライティングシステムおよび超撥水シリコンワイパーを採用した35号車が開幕4連勝を達成し、チャンピオンを獲得。残念ながら第5戦の鈴鹿は3位に甘んじたものの、同じくPIAAのアイテムを採用する34号車も2位入賞を果たし、4戦連続で表彰台を獲得した。



ST3クラス チャンピオンのフェアレディZ (#35)
#34号車も常に表彰台の常連!



TRACY SPORTS IS350も常に上位争いを展開

また、ST-3クラスに2台のレクサスIS350を、ST-4クラスに2台のホンダS2000を投入している「TRACY SPORT」もPIAAのサポートチームで、PIAAのヘッドランプおよび超撥水シリコンワイパーを装着した各マシンが両クラスで躍進。なかでも、ST-4クラスに参戦する41号車が第3戦・富士、第4戦・岡山で2連勝を果たすなど、シリーズ屈指の激戦区で活躍中だ。残念ながら第5戦の鈴鹿では3位に留まることとなったが、引き続きタイトル争いをリードしている。



TRACY SPORTS S2000



撥水デザインワイパー

ST-4クラスでの注目は「ARTA with TEAM A-ONE」もPIAAのサポートチームで、ライティングシステムおよびワイパー、さらに鍛造レーシングホイールを装着したホンダ・インテグラで激しいポジション争いを披露している。



Forged Wheel
チームリクエストで更なる軽量化をはかった。



ARTA with TEAM A-ONE インテグラ
今季ベストの5位でフィニッシュ!

さらに 1500CC 以下の車両で争われる ST-5 クラスでは「TEAM SPOON」が素晴らしいパフォーマンスを見せており、PIAA の LED リアフォグランプを採用したホンダ・フィット 3 で開幕 2 連勝を達成。第 5 戦の鈴鹿ではシーズン 3 勝目を獲得するなどタイトル争いを展開中だ。

LED リアフォグランプは ST-X から ST-5 までスピードレンジが大きく異なる混走レースのスーパー耐久において、後方からの視認性が安全面から非常に重要なことから、同チームからスペシャルオーダーを受けて、PIAA が世界最高峰の MOTO GP へ供給したレベルの視認性が高い特別仕様のリアフォグを供給したものだ。このことは、PIAA が常に安全性を重視した製品開発を第一に考えている表れで、モータースポーツの世界においても、単に「明るさ」だけを追求するのではなく、「見やすさ」「見られやすさ」を考えた製品開発をしているからに他ならない。



TEAM SPOON FIT3



LED リアフォグランプは安全性を重視！

このように 2014 年も PIAA ユーザーはスーパー耐久で活躍しており各クラスでトップ争いを展開。過酷なロングレースを走破することによって、ライティングシステムおよびシリコンゴムワイパー、そしてレーシングホイールの実力を改めて証明し、より良い製品開発にフィードバックしているのである。

■ドライバーボイス/Driver Voice

ARTA with TEAM A-ONE 73 号車ドライバー 北川剛選手



『今までは他社のホイールを使っていましたが、他のチームが使っていないブランドにしたかったので前からホイールの変更を検討していました。で、何にしようか探していたんですけど、TUBE の松本（玲二）さんがインテグラ（S 耐レース）やシビックワンメイクレースで使っているのを見て良さそうな感じがしたので、テストで使ってみようということになりました。それまで PIAA のホイールは市販車用のファッションアクセサリとしての印象が強かったんですけど、実際にテストで使ってみると強度、剛性が高く、レーシングホイールとしても他のブランドと遜色のないパフォーマンスでした。それにテストで使ってみた感じだとちょっと重さが気になったので軽量化のリクエストをお願いしたんですけど、そのレスポンスが速かったし、剛性を落とさずに 1 本あたり 500g も軽くなってきたので開発能力にもビックリしました。おかげで他社のホイールよりも軽くなりましたし、その一方で強度も強いので縁石や他車にホイールがあたってもトラブルがありません。競技用のレーシングホイールとしてパフォーマンスが高く、耐久レースに最適なホイールだと思います。もう少しサイズのラインナップが増えれば、いろんな車種に装着できるので数多くのチームが採用すると思いますよ』

■エンジニアボイス/Mechanic Voice

ENDLESS SPORTS 3号車メカニック 中村良幸氏



『ST-2 クラスのランサーエボリューションやST-4 のトヨタ 86 など、以前から PIAA のランプを使用していましたからね。ランプが明るいし、メンテナンスフリーの状態にできるほど耐久性も高いので、今年から ST-X クラスに投入した BMW Z4 にも当然のように PIAA のランプシステムを採用しました。最初のリクエストで手違いがあったのか、ドイツ仕様の GT3 車両に対して国内仕様のパーツが届いていたことから、電圧の問題があったのでしょね、第 3 戦の富士で LED が点かなかったり、暗かったりとトラブルがありました。すぐに原因を突きとめて海外仕様車両に合う LED リングを供給してくれました。その辺りの対応は早くて、レスポンスはスゴいなあ・・・と思いました。あと同じく第 3 戦の富士の時に純正のヘッドランプにもトラブルが出ていたので、第 4 戦の岡山から PIAA のバルブにしているんですけど、それ以降はまったくトラブルもないですし、やっぱり明るさが違う。ライフに関しても Z4 でもメンテナンスフリーで行けるんじゃないかなあ。最近は夜間の走行はないんですけど、やっぱりランプは明るい方がいいですからね。それにナイトセッションがあれば PIAA のランプはアドバンテージになると思うので、スーパー耐久でも夜間のセッションが欲しいぐらいですね』

■おもいやりライト/Omoiyari-Light

今回のスーパー耐久 第 5 戦 鈴鹿では、グランドスタンド側イベント広場に PIAA は PR ブースを設置。LED を中心とするライティング製品や超撥水シリコンワイパー、アルミホイールを展示するほか、「おもいやりライト」運動の PR 活動を実施した。

「おもいやりライト」運動とは、交通事故が一番多い時間帯の夕暮れ時に、ヘッドライト早期点灯をドライバーに実施して頂き歩行者事故を削減する運動です。



PIAA はライティング製品を扱う企業として、この「おもいやりライト」運動に賛同し交通事故を削減するために PR をしています。11 月 10 日は『いい点灯の日』って、ご存知でしたか？秋から冬にかけて、日が暮れる時間が早くなりますので、早めにヘッドライトを点灯して頂くきっかけになればと、『いい点灯の日』が制定されました。11 月 10 日は全国で夕方 16 時にヘッドライトを一斉点灯するソーシャルアクションが実施されますので、是非みなさんもそれぞれの場所で早めのライトオンを！



レース用と同じ鍛造製法のホイールも多数展示



LED ライト、撥水ワイパーなど



ハスラー用新作ホイール、花柄、ハートデザインも！
スポーツ系ホイール以外にもラインナップ！



夕暮れ時に早めにつけよう おもいやりライト！

あなたが「見る」ためだけでなく、近づくあなたのクルマを「見られる」ためのヘッドライト。
「おもいやりを持つやさしさ」で、少し早いライトオンを。

「見るためだけでなく、見られるための光を」
見えやすさと見られやすさの光が繋がればおもいやりになる。